

佐同教だより

佐賀県人権・同和教育研究協議会

住所 佐賀市大和町大字川上 佐賀県教育センター 研究調査棟内
 TEL 0952(62) 6434 FAX 0952(62) 6435

第41回佐賀県人権・同和教育研究大会

人権教育・啓発・まちづくりの姿を発信

鳥栖・三養基・神埼地区で開催

昨年10月28日(金)に、神崎市と吉野ヶ里町の3会場で、第41回佐賀県人権・同和教育研究大会が開催され、県内各地の行政・社会教育・学校教育・PTA・運動体などから5つの分科会にあわせて800名を超える参加者がありました。

鳥栖・三養基・神埼地区では、第36回大会以来の開催で、行政・社会教育・学校教育関係者が一体となって一昨年より準備を行い、当日を迎えました。

研究大会は2年ぶりの開催で、尚且つ今回から分科会構成も大きくリニューアルしたこともあり、当初は手探り状態からの出発でした。しかし、一昨年11月の全人教大会や昨年8月の九同教夏期講座の経験と成果をさらに深化・発展させていくための最初の研究大会と位置づけ、県内から14の

実践報告を発信する中で、初めて企業からの報告が実現するなど新しい研究大会の姿が見えた大会となりました。

研究大会の開催にあたり、多大なご支援とご尽力をいただいた開催地域の鳥栖・三養基・神埼地区の関係各位の皆様深く感謝申し上げます。

第1分科会「行動につながる学びづくり」

地域における啓発活動を

より活発に

これまでの研究大会では、社会教育・啓発の分科会は第6分科会として設定されていましたが、今回の大会より、身近な人権問題



を解決するための行動につながる学びを創造する第1分科会となりました。会場となった吉野ヶ里町の三田川健康福祉センター「ふれあい館」大広間には、164名の参加者がありました。

「多久市における人権・同和教育、啓発の取り組みを深まりと広がり求めて」(多久市教育委員会 野中久美子さん)、「鳥栖市における人権・同和教育、啓発の取り組み」(鳥栖市教育委員会 松永定利さん)、「白石町における人権・同和教育、啓発活動の取り組みと課題」(社会学連携による人権フェスティバルの取り組みを中心)、「白石町教育委員会 大串豊さん」の報告がありました。

第2分科会【子ども支援・家庭支援】

すべての子どもたちへの支援の在り方を探る

これまでの【障がい児教育】【進路保障】の分科会の流れをくむ【子ども支援・家庭支援】の第2分科会は、神埼市の西九州大学7号館6F大講義室を会場に行われました。小学校・中学校・高校からの報告があると



いうこともあり、学校関係者を中心に161名の参加がありました。「みんなの中で育ってほしい」学校・保護者・地域が連携をとりな

がら〜」（佐賀市立三瀬小学校 西原宏一さん）、「Aさんへの支援から見えてくること」Aさんの困り感と変容〜」（鳥栖市立鳥栖中学校 水間菜摘美さん 池田直子さん）、「全日制高等学校における教育支援のあり方」『できる授業』で取り戻す、自己肯定感〜」（佐賀県立太良高等学校 今田康光さん）の3本の報告があり、質疑・応答のあと、グループ協議で報告者の思いを共有しました。

第3分科会【子ども同士をつなぐ仲間づくり】

みんなが笑顔になる

人間関係づくりをめざす

今回の研究大会のリニューアルにともない、前回までの【進路保障・仲間づくり】分科会から独立する形で【仲間づくり】単独の分科会ができました。

大会当日は、全5分科会中、最多となる199名の参加があり、会場も神埼市中央公民館第1研修室と第2研修室の2部屋を使用



することになり、参加者のみなさまにはご迷惑をおかけしました。「一人ひとりが大切になり、つながり合う学校づくりをめざして」（武雄市立橘小

学校 北川哲徳さん 坂本和美さん）、「子どもたちが歩き出した」（佐賀市立開成小学校 高田良太さん）、「俺、昇次郎と友だちになつたよ〜うれしの特別支援学校中学部と嬉野市立塩田中学校の交流及び共同学習を通して〜」（嬉野市立塩田中学校 船底聡一さん 松尾幸子さん 佐賀県立うれしの特別支援学校 小山正己さん 末永真智子さん）の3本の報告がありました。

それぞれの報告について、参加者の思いを付箋紙に記したり、グループ協議を行うなど分科会運営にも工夫が見られました。



第4分科会【豊かな生き方に学ぶ人権・部落問題学習】 **差別を自分の問題として捉える 学習づくりを**

西九州大学5号館地下2Fの第2視聴覚講義室で行われた第4分科会には、125名の参加がありました。

「児童の心を耕し、豊かな人間関係を育む人権教育」人権集会の取り組みを通して（玄海町立有徳小学校 堀川陽子さん）、「小規模校での取り組み」差別事象以後の人権・

同和教育の推進状況（唐津市立加唐中学校 小山成径さん）、「あなたたちも変えていける」（多久市立北部小学校 佐藤哲郎さん）の3本の報告がありました。また、佐同

教人権・部落問題学習研究専門委員会からの提起として、委員会で作成した「人権・同和教育Q&A Part IV」の趣旨や内容についての説明を行いました。

第5分科会【市民活動・企業活動交流】 **人権のまちづくりのために さらなる交流を**

研究大会の分科会構成のリニューアルにもない今回より【市民活動・企業活動交流】の分科会ができました。

神埼市中央公民館多目的講堂を会場に行われた第5分科会には、

162名の参加者がありました。

「人や社会とつながっていく支援」をすべての子どもたちに（社会福祉法人「若楠」障害者就業・生活支援センターもしもしネット 牟田千賀子さん）、「アルタの挑戦」子ども



たちへの食育を通して（ショッピングセンターアルタ 池田龍二さん）の2本の報告とともに、当日『展示と交流』に参加していただいたみなさんからのリレーメッセージもありました。人権のまちづくりのために尽力されている方々を知り、交流するいい機会となったのではないかと思います。研究大会史上初めて、企業から報告があったことは、新しい研究大会の姿を象徴するものとなりました。

課題別研究会「就学前教育」

自分や友だちを大切にできる
教育・保育の創造をめざそう

昨年10月16日(日)に佐賀市の佐賀県教育会館で開催した課題別研究会「就学前教育」には、県内各地より保育士や学校関係者等90名を超える参加者がありました。

大川保育園の中山恵美さんからは、園の縦割り

保育の実践と小・中学校との連携について「『やさしい気持ち』を

育てる保育をめざして」と題しての報告がありました。また、NPO法人唐津市子育て支援情報センターの山口ひろみさんから、「支援を届けながら、地域のつながりをつくりたい」～「親を元気にしたい!」という思いを重ねながら」と題して、子育て中の保護者に向けた支援についての具体的な報告を聞くことができました。

午後からの特別報告では、福岡県中間市のさくら保育園の山本友子さんから「言葉(こころ)とつながりを大切にしたい」と題して、



保育園・小学校・中学校や地域との協働による取り組みについての報告があり、参加者の方々も熱心に聴きっていました。

「すばらしい取り組みでした。これまでの同和教育の取り組みが基本にあつてのことだと感じました。また、子どもの実態からのスタート、何とかしたいという教師の願いが大切だとあらためて思いました」、「保・小・中が一体で、一緒に活動できるのはすばらしいことだと思えます。よく連携ができていて、他の地域でもそのようなようになっていければと思います」などの感想が寄せられました。報告の後には、参加者によるグループ協議の時間を設け、報告の感想や自分たちの実践を共有する試みを初めて行いました。保育士や学校関係者、地域の方が同じグループでそれぞれの思いや実践を話し合うことで、学びが深まりました。

佐同教2012年度行事予定

第43回総会並びに研修会 5月28日(月)メートプラザ佐賀

夏期講座(研究大会全体会) 8月10日(金)武雄市文化会館

課題別研究会「就学前教育」10月14日(日)西九州大学神園キャンパス

佐賀県人権・同和教育研究大会(分科会)

10月26日(金)小城市・多久市